

2019年11月7日

株式会社セゾン情報システムズ

---

## ファイル連携ミドルウェア「HULFT」 簡単な設定だけで、主要クラウドへのエンタープライズクラス のデータ連携を実現する新機能を提供 ～クラウドでもっとも使いやすい「つなぐ」技術へ向けた機能強化、第一弾～

---

株式会社セゾン情報システムズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：内田 和弘、以下「セゾン情報システムズ」）は、国内シェア No.1(※1)のファイル連携ミドルウェア「HULFT（ハルフト）」に、簡単な設定を行うだけで、HULFTの使用感そのまま、技術者のスキルもそのまま、ファイル連携だけでなく連携に関わる前後の運用も含む一貫した運用管理による負荷軽減のメリットも既存 IT システムと同様に、容易に主要クラウド（Amazon Web Services™（AWS™）、Microsoft® Azure™、Google Cloud Platform™（GCP™））へのデータ連携を実現する新機能「クラウドストレージオプション」を提供します。本機能は HULFT のオプション機能として 12 月 4 日より提供開始を予定しています。

※1 株式会社富士キメラ総研「パッケージソリューションマーケティング便覧」「ソフトウェアビジネス新市場」＜ファイル転送ツール パッケージ・金額ベース＞2003 年度実績～2018 年度実績

### ■「クラウドネイティブ」なデータ連携基盤にますます活用

ファイル連携ミドルウェア「HULFT」は、多種多様なシステムの間を安全安心確実に「つなぐ」ことができる、業務を支えるエンタープライズクラスのファイル連携基盤として活用をいただけてきました。

現在、急速なデジタル技術の発展と活用の拡大を背景に、ビジネスにおいて様々な新しい取り組みが進められつつあります。これまでにない IT の利活用が進められる現在、HULFT は従来からビジネスを担ってきたシステムと、最新の取り組みを実現する様々な最新技術、新旧の様々なシステムを着実に連携できる手段としてご活用を頂くことも多くなってきました。

特に昨今、各社で急速に進められつつあるクラウド使用においても、弊社が 2018 年 12 月に実施した WEB アンケート「クラウドにおけるオブジェクトストレージ利用の実態調査」において、クラウド環境を利用しているとした回答者に HULFT の利用環境について尋ねたところ、オンプレミスでの利用が 47%、IaaS での利用が 25%との回答となるなど、旧来の用途に加えて、既存のシステムとクラウドの間、あるいはクラウド間を連携する手段としての活用が進んでいることが明らかになりました。

同アンケートでは、IaaS を利用している回答者のうち 86%がオブジェクトストレージを導入していると回答があり、オブジェクトストレージの用途についても尋ねたところ、バックアップが 72%、クラウド環境のログの保存先が 35%、データレイクが 25%との回答となりました。

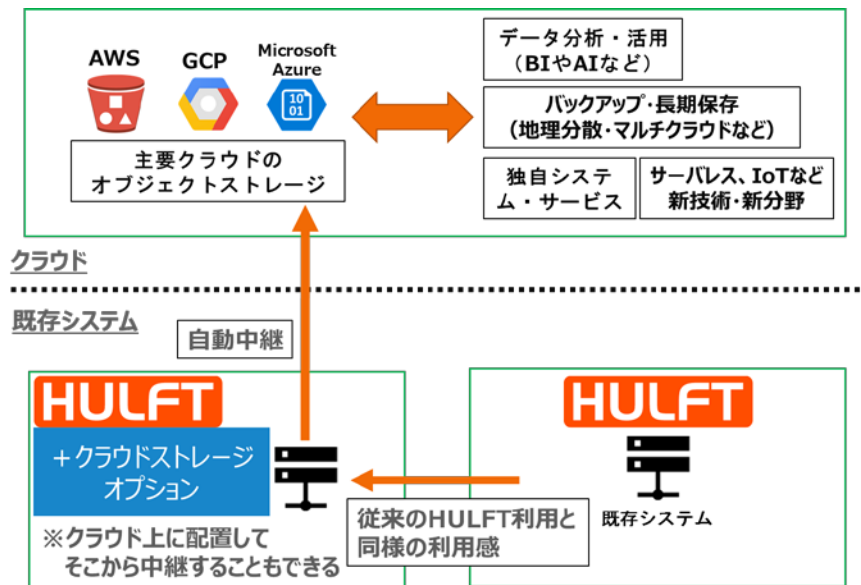
今回提供する「クラウドストレージオプション」は、このようにお客様のクラウド活用の状況を背景として、特に利用ニーズの多い「クラウドへのデータ連携」のユースケースにおいて、その実現と活用を飛躍的に容易にする、クラウド連携向けの機能強化の第一弾として提供するものです。

### ■既存技術とクラウドの両方に詳しいエンジニアが居なくても、クラウド連携を容易に実現

従来、既存 IT システムとクラウドを連携しようとした場合、既存技術とクラウドの両方に詳しいエンジニアが必要になってしまうことがありました。しかし、そのようなハイスキルなエンジニアの確保は容易ではなく、そのことがクラウド活用の妨げとなっていたことがありました。

そこで、両方のスキルに通じたエンジニアが居なくても、容易にクラウド連携を導入し活用できる仕

組みを実現しました。ファイル連携ミドルウェア「HULFT」が、スキルセット間をうまく「つなぐ」ことで、既存 IT システム側では既存のインフラも技術者のスキルも従来のまま、従来通りの HULFT の使用感もそのまま、クラウド連携の実現とデータ活用を可能にする新機能です。



既存 IT システム側では、既存 HULFT と同等の使用感や設定で、転送先がクラウドのオブジェクトストレージとなるファイル転送が可能になります。新たなスキルの習得も必要なく、クラウド側の接続先の簡単な設定をするだけでクラウド連携機能が利用可能になります。

クラウド側で転送先となるオブジェクトストレージは、各社クラウドでのデータ保存や活用の中心的機能であり、クラウド側でデータを安全安心に保管する際にも利用されます。

既存システム側とクラウド側でのエンジニアのスキルセットの違いは HULFT が吸収した上で、既存システムのデータ活用基盤である HULFT からクラウド側へ、簡単な設定によりデータ連携を実現できる新機能となります。

さらに、確実な転送の実現や、転送履歴や転送の管理などの周辺機能など、エンタープライズクラスの連携機能に必要な様々な機能は HULFT の機能を活用できるため、これら機能を独自に開発・検証する必要もなくなります。

## ■「クラウドストレージオプション」活用のユースケース例

### 1. クラウド上でのデータ活用を実現（データレイク実現、BI や AI でのデータ活用）

基幹システム上にあるデータや、業務の現場の Excel ファイルや CSV ファイル等を HULFT でクラウドへ連携。オブジェクトストレージによるデータレイクの実現や、クラウド上の各種サービスでの BI や AI でのデータ活用を手軽に実現できます。

### 2. 法的な保管義務などがあるデータを、クラウド上にオフロード

例えば、法的に指定期間の保存義務を負うデータをクラウド上のオブジェクトストレージに転送。技術的な変化もありうる長期間、事前に予測ができない容量のデータを、監査証跡なども残したうえで、データが消えないよう保管するのは大変です。低コストにデータ保管が可能となるだけでなく、クラウドサービス側で整備された様々な機能を活用可能になります。

### 3. バックアップや大容量データの退避手段として

災害などの発生に備え、地理的に分散したバックアップが望まれます。また、サービス停止や障害、ベンダーロックインに備えるためにも、複数クラウドでのバックアップも望まれます。

オブジェクトストレージオプションは主要クラウドに対応しています。既存システムのエンジニアにより、マルチクラウド・地理分散の堅固なバックアップが実現可能になります。

#### 4. 自社提供のクラウドサービスを、メインフレーム等のシステムからも使ってもらう手段として

HULFTはファイル連携ミドルウェアのデファクトスタンダードとして、全国銀行協会の会員企業の全てで導入いただいているなど、多くのシステムでご利用を頂いています。クラウド上で自社サービスを展開されている企業様が、HULFT導入企業からデータを受け付ける手段として利用できます。

自社でオブジェクトストレージ等を公開した場合に、転送失敗時の責任分界点が不明瞭になり調査が難航するトラブル避けられる他、自社で従来システムへの連携機能を実装する必要もなくなります。

#### ■対応するクラウドストレージサービス：

- [Amazon Web Services] Amazon Simple Storage Service™ (Amazon S3™)
- [Microsoft Azure] Microsoft Azure Blob Storage™
- [Google Cloud Platform] Google Cloud Storage™

※今回の製品リリースでは、オブジェクトストレージへのアップロード (Put 機能) のみ対応しています。ダウンロード機能や、その他のサービスは、今後のバージョンアップで対応を予定しています。

#### ■HULFT クラウドストレージオプション 提供価格 (税別)：

- ライセンス：¥300,000、保守費用 (年額) ¥45,000 (通常保守) / ¥90,000 (24時間365日保守)
- サブスクリプション (月額)：¥12,800 (通常保守) / ¥16,500 (24時間365日保守)

※本製品はHULFT8 for Windows/Linuxのオプション製品です。接続するクラウドサービスごと (Amazon S3、Azure Blob Storage、Google Cloud Storage) に購入が必要となります。

#### ■「HULFT(ハルフト)」について

(製品詳細 URL：<https://www.hulft.com/software/hulft-8>)

「HULFT」は1993年の発売以来、対応プラットフォームを拡張しながら業務システムのファイル連携に必要な機能を実装し続け、業種・業界を問わず、全世界で43カ国、9,800社(2019年9月末現在)のお客様にご利用いただいているファイル連携ミドルウェアです。サーバーやプラットフォーム、コード体系などが異なる様々なファイルを、業界標準のTCP/IPプロトコルを使って安全、確実に送届けます。

#### ■株式会社セゾン情報システムズ について

本社：〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティ AIR 19F

設立：1970年9月1日

代表者：内田 和弘 (代表取締役社長)

資本金：13億67百万円

事業内容：Fintechプラットフォーム事業、流通ITサービス事業、HULFT事業

証券コード：9640 (東京証券取引所 JASDAQ スタンダード市場)

URL：<https://home.saison.co.jp/>

#### 商標関連

- ・ Amazon Web Services、Amazon Simple Storage Service、Amazon S3、その他関連製品名は米国および/またはその他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- ・ Google Cloud Platform、GCP および Google Cloud Storage は Google LLC の商標です。
- ・ Microsoft Azure、Microsoft Azure Blob Storage、Windows、その他関連製品名は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ 「HULFT」、その他関連製品名は、株式会社セゾン情報システムズの登録商標または商標です。
- ・ その他の会社名、製品名、サービス名等は、各社の登録商標または商標です。

<報道関係者様からのお問い合わせ先>

株式会社セゾン情報システムズ広報：

山本：050-3199-2876 (直)

[Masaaki\\_Yamamoto@sis2.saison.co.jp](mailto:Masaaki_Yamamoto@sis2.saison.co.jp)

横井：050-3199-2049 (直)

[Seiko\\_Yokoi@sis2.saison.co.jp](mailto:Seiko_Yokoi@sis2.saison.co.jp)

<HULFTに関するお問い合わせ先>

株式会社セゾン情報システムズ

HULFT 事業部マーケティング部：野間・渡辺

TEL：03-6370-2300

E-mail：[info@hulft.com](mailto:info@hulft.com)